

平成27年度進行管理・評価シート
奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成28年3月31日）
□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業	3
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業	4
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)	5
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(指定・選定以外の建造物)	6
5 町家建物内部改修モデル事業	7
6 奈良町町家バンク事業	8
7 文化財調査事業	9
8 三条線電線類美化事業	10
9 猿沢線街路整備事業	11
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業	12
11 ナラ枯れ等対策事業	13
12 奈良のシカ保護育成事業	14
13 伝統的建築文化継承事業	15
14 なら工芸館活用事業	16
15 伝統祭礼・行事助成事業	17
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業	18
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業	19
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業	20
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	21
20 入江泰吉旧居活用事業	22
21 奈良町にぎわいの家活用事業	23
22 観光案内板整備事業	24
23 文化財解説板整備事業	25
24 奈良まちかど博物館事業	26
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	27
26 史料保存館活用事業	28
27 文化財講座開催事業	29
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定	30
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	31
3 文化財の防災	32
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	33
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 奈良市の歴史的まちづくり認定・にぎわいの家・旧鍋屋交番きたまち案内所	34
2 春・夏のナイトカルチャー・元林院の舞妓とそぞろ歩く花街の夕べ	35
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	36
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	37

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

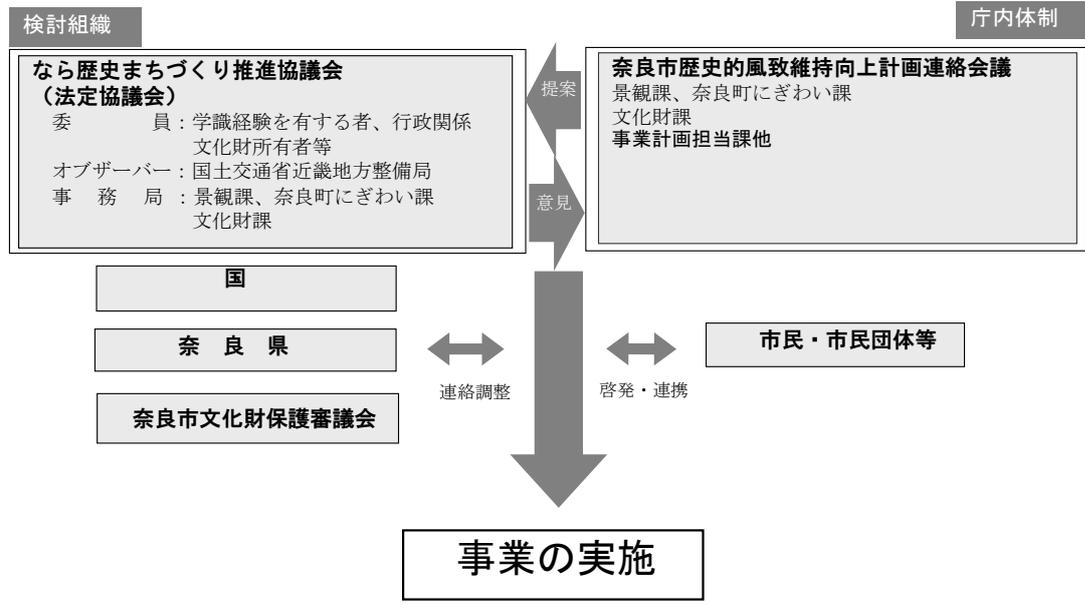
計画に記載している内容 景観まちづくりの担当部局である都市整備部景観課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局教育総務課文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整をおこないながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の認定に伴い、「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」を新たに設置し、平成28年2月24日に「なら歴史まちづくり推進協議会」を開催。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



平成28年2月24日なら歴史まちづくり推進協議会の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
----	--------	-----------------

景観計画

- 実施済
- 実施中
- 未着手

奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良市眺望景観保全活用計画に基づく眺望保全、また奈良町の歴史的風致の維持向上をより効果的に推進するため、現在の地区を拡大し、「ならまち歴史的景観形成重点地区」並びに「きたまち歴史的景観形成重点地区」の追加指定を含む景観計画の改正を平成28年度から行う予定である。なお、「奈良町歴史的景観形成重点地区」の平成27年度の届出数は、27件である。

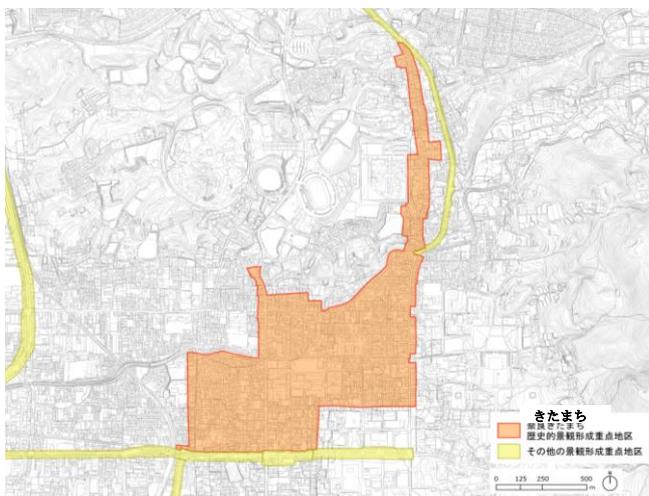
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区(予定)

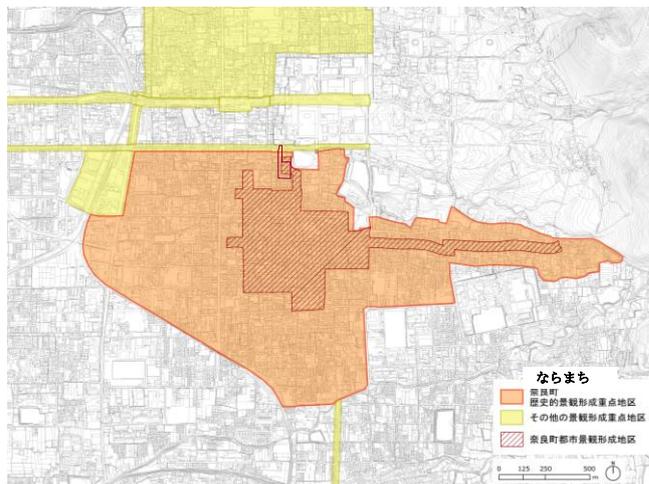


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区(予定)



平城宮跡からの眺望

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、県単独事業市単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)

計画に記載している内容 本社本殿ほか13棟の保存修理を屋根葺替等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付した。
 事業内容:平成27年度は、経年による檜皮葺の破損や塗装の剥落等がみられる、本社本殿の屋根葺替・部分修理・塗装修理が行われた。なお、本社本殿の修理は春日大社の第60次式年造替の一環として実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●本社本殿(修理前)



●本社本殿(平成27年度実績)



評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
史跡興福寺旧境内保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～平成36年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、県単独事業市単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)

計画に記載している内容 興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付した。
 事業内容:平成27年度は、中室跡・鐘楼跡・経蔵跡の発掘調査と、北円堂東回廊基壇と北円堂南参道の整備工事が実施された。このほか、適所に案内板、解説板が設置された。発掘調査は、平成27年10月2日から実施され(面積835.5㎡)、12月20日に一般市民に向けた現地見学会が実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●東面回廊完了(南から)



●東面回廊完了(北から)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成6年度～平成32年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度、単独事業 平成6年度～

計画に記載している内容 歴史的な町並みを保全するため、都市景観形成地区内にある戦前までに建築された建築物、工作物の外観修理に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戦前までに建築された建築物及び工作物(指定・選定建造物)を修理基準により伝統的な建築様式に外観を修理する工事に伴う費用の一部を助成し、歴史的な町並みを保全し、良好な住環境の維持を図っている。
 平成27年度は9件の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度補助実績

	所在地	用途	補助額(円)	補助率
1	奈良市西新屋町	住宅	8,000,000	70%
2	奈良市東城戸町	住宅	2,885,000	80%
3	奈良市高畑町	住宅	6,756,000	80%
4	奈良市薬師堂町	長屋住宅	8,000,000	70%
5	奈良市中新屋町	店舗付住宅	5,836,000	70%
6	奈良市公納堂町	店舗	4,324,000	70%
7	奈良市川之上突抜北方町	賃家	2,109,000	70%
8	奈良市高畑町	事務所付住宅	3,772,000	70%
9	奈良市高畑町	ゲストハウス	5,650,000	80%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。
 ※補助率 指定建造物:80% 選定建造物:70%

○修理工事例

1



【修理前】



【修理後】

3



【修理前】



【修理後】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(指定・選定以外の建造物)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成6年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度、単独事業 平成6年度～

計画に記載している内容 奈良市都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建築物や工作物を修景基準により新築する工事に伴う費用の一部を助成し、歴史的な町並み景観を保全し、良好な住居環境の維持及び育成を図っている。
平成27年度は5件の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度補助実績

	所在地	用途	補助額(円)	補助率
1	奈良市薬師堂町	住宅	3,774,000	50%
2	奈良市芝突抜町	寺院	5,000,000	50%
3	奈良市中新屋町	店舗	4,881,000	50%
4	奈良市勝南院町	店舗	896,000	50%
5	奈良市薬師堂町	住宅	2,986,000	50%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

○修景工事例

2



【工事前】



【工事後】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
町家建物内部改修モデル事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良町の歴史的な町並みを保存し、町家の保全活用を促進することを目的として、都市景観形成地区内の指定建造物、選定建造物、登録有形文化財である町家の内部改修工事に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度から3年間のモデル事業として、都市景観形成地区内の指定建造物、選定建造物、登録有形文化財である町家の内部改修工事に伴う費用の一部を助成し、伝統的な町家の保全活用を促進した。
平成27年度は15件の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度補助実績

	所在地	用途	補助額(円)	補助率
1	奈良市高畑町	住宅	5,000,000	50%
2	奈良市南市町	ギャラリー	2,851,000	50%
3	奈良市公納堂町	店舗	4,784,000	50%
4	奈良市西新屋町	住宅	5,000,000	50%
5	奈良市東城戸町	住宅	3,310,000	50%
6	奈良市薬師堂町	長屋住宅	5,000,000	50%
7	奈良市川之上突抜北方町	賃家	2,068,000	50%
8	奈良市高畑町	事務所付住宅	2,862,000	50%
9	奈良市芝新屋町	住宅	1,603,000	50%
10	奈良市脇戸町	店舗	491,000	50%
11	奈良市高畑町	住宅	691,000	50%
12	奈良市高畑町	ゲストハウス	4,995,000	50%
13	奈良市勝南院町	店舗付住宅	885,000	50%
14	奈良市今御門町	店舗付住宅	5,000,000	50%
15	奈良市西新屋町	店舗	1,636,000	50%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

○内部改修例

5



【改修前】



【改修後】

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
奈良町町家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 登録したい人への説明会や登録物件の測量、町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の仲介などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家バンクの登録希望者に対して説明会を月2回程度開催し、利用希望者に対しては現地説明会を実施、貸主と借主の仲介を行っている。併せて、登録物件の調査を行い、ホームページで公開するほか、奈良町内の空き家調査を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●町家バンクの登録状況

登録物件数 19件
 利用希望者数 85件
 (成約済、期限切れ、音信不通、削除除く)

(平成28年3月末現在)

成立物件の活用事例

住居、店舗、ゲストハウス 等



登録物件の例(中央の建物)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	歴史資料調査 平成8年度～ 近世近代建造物調査 平成24年度～ 庭園調査 平成24年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業（庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）		
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施 <近世近代建造物調査>奈良町の町家3件の詳細調査を実施。その他、東部地域[田原地区]で社寺建築の悉皆調査、中部地域[平城地区]で民家等の悉皆調査を実施。また、専門家から意見・助言を得るためアドバイザー会議を2回開催。 <庭園調査>町家等9件、寺院16件で調査を実施（うち2件は重点区域外）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●近世近代建造物調査



詳細調査: 奈良町にぎわいの家 正面全景

●庭園調査



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
三條線電線類美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業、防災・安全交付金の活用を検討(平成28年度～平成36年度)

計画に記載している内容 三條通の上三條町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。

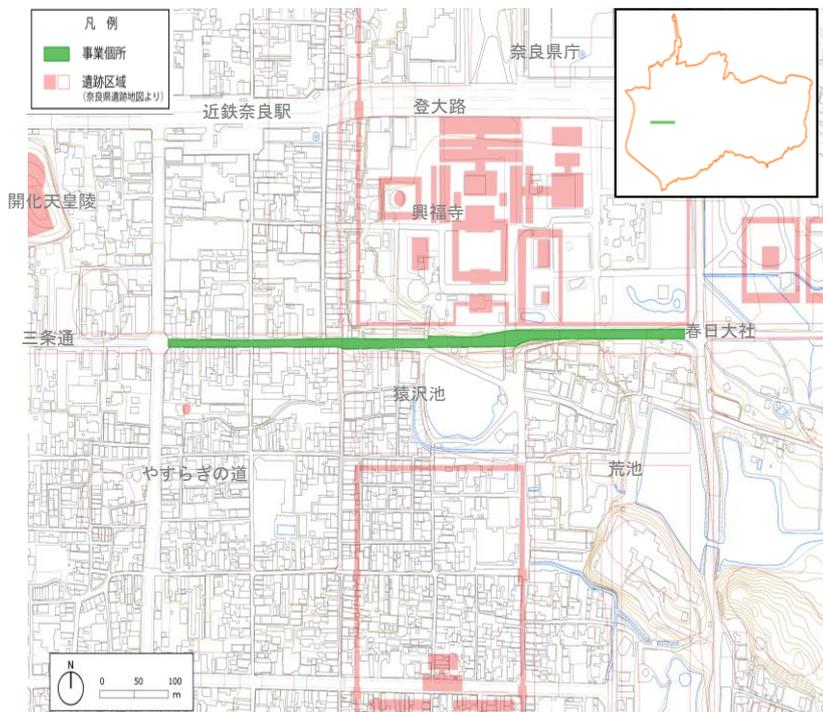
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度は電線共同講の概略設計を実施した。また、無電柱化地方部会において事業実施の同意を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



三條線電線位置図(緑着色部分)

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
猿沢線街路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業、社会資本整備総合交付金(街路事業)の活用を検討

計画に記載している内容 猿沢線の鶴福院町区間(延長120m)の道路拡幅を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引続き、事業着手に向け、地元や関係機関と協議を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

地元と共に、まちづくりの検討を行う。

状況を示す写真や資料等

●現況写真



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度

計画に記載している内容 奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題である。その課題に戦略的に取り組むため、奈良町重点区域内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の外観を修理する工事に伴う費用の一部を助成し、重点区域内に点在する歴史的建造物資産の保存・活用を図っている。
平成27年度から事業を実施し、3件の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度補助実績

	所在地	用途	補助額(円)	補助率
1	奈良市紀寺町	住宅	2,343,000	70%
2	奈良市西紀寺町	住宅	4,181,000	80%
3	奈良市南半田西町	住宅	2,799,000	80%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。
 ※補助率 伝統的な形式を保ち、又は外観の改造(小規模なものに限る。)をしているが、周囲と調和しているもの:80%
 外観の改造をしているが、伝統的な形式への復元が可能なもの:70%

○修理工事例

3



【修理前】



【修理後】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
ナラ枯れ等対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 県単独事業

計画に記載している内容 ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)



春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
奈良のシカ保護育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 県・市・春日大社共同事業

計画に記載している内容 一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良のシカの生態調査のため、頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行なった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成27年度「奈良のシカ」生息頭数調査
 - ・調査日時 平成27年7月15日・16日 午前5時～8時
 - ・調査地域奈良公園域内(別途図面参照)
 - ・調査人員延べ69人

- 奈良公園の鹿の総数1,495頭
(うち鹿苑内収容頭数304頭)
(平成27年7月16日現在)
 - ①奈良公園内生息頭数
総頭数1,191頭(前年比+115)
オス204頭(前年比+14)
メス788頭(前年比+75)
子鹿199頭(前年比+26)
 - ②鹿苑内保護収容頭数
総頭数304頭(前年比+18)
オス186頭(前年比+14)
メス124頭(前年比+4)



鹿の角きり行事



鹿寄せ

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
伝統的建築文化継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用の相談窓口事業を行い、保全・活用を継続的に実践できる体制づくりを進めるため、市民向けセミナーの開催、相談窓口を行っているが、参加者が建築系の専門家等が多く、歴史的建造物の所有者等、一般参加が少ない。よって、相談窓口も歴史的建造物の所有者等からの直接の意見が聞けない。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民セミナー、建築物等文化遺産の修理、改修等の相談窓口が一過性のものにならないよう、持続性のある体制づくりを目指さなければならない。

状況を示す写真や資料等

- 第1回市民セミナー(8月23日) 奈良町にぎわいの家、奈良町物語館
 テーマ:町家の生活文化、建築文化遺産の保全と活用
 活用パネル展、相談室 (参加者31名)
- 第2回市民セミナー(12月19日)まほろばセンター 第7会議室
 テーマ:地域まちづくりのための資金調達システム
 相談室 (参加者22名)
- 第3回市民セミナー(3月5日)奈良市ならまちセンター 会議室3・4
 テーマ:奈良の文化的景観と建築技術の継承 ～昔の写真で見る奈良の景観と現在の景観～
 パネル展、相談室 (参加者23名)



第3回市民セミナーの様子(平成28年3月5日、ならまちセンター)

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
なら工芸館活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成12年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画に記載している内容のほか、定期的に制作実演や制作体験を行っており、レンタルギャラリースペースでは作家や趣味の団体による展示会も頻繁に行われている。特に年に1回正倉院展の時期に合わせて開催される「奈良工芸フェスティバル」ではたくさんの来場者でにぎわっており、伝統工芸の観点から奈良の歴史的な景観の向上に役立っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(参考)過去3年間の入館者数
 平成25年度 43,252人
 平成26年度 48,269人
 平成27年度 46,305人



若手作家による制作実演の様子

●制作体験教室
 過去3年間の参加者数
 平成24年度 587人
 平成25年度 554人
 平成26年度 762人
 平成27年度 580人



制作体験教室の様子

●奈良工芸フェスティバル
 過去3年間の入場者数
 平成25年度 3,114人
 平成26年度 5,741人
 平成27年度 6,227人



奈良工芸フェスティバル 展示の様子(平成27年10月27日～11月3日)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
伝統祭礼・行事助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭、若草山山焼き等を行う団体に助成する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●春日若宮おん祭

【主催】春日若宮おん祭保存会事務局

- 平成27年12月15日:大宿所詣、御湯立、大宿所祭
- 平成27年12月16日:大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭
- 平成27年12月17日:還幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、南大門交名の儀、松の下式、競馬、お旅所祭、稚児流鎗馬、神楽、東遊、田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、還幸の儀
- 平成27年12月18日:奉納相撲、後宴能



●薪御能

【主催】薪御能保存会

- 平成27年5月15日:
 - ・咒師走の儀(金春流能「翁」)
 - ・南大門の儀(宝生流能「巴」、大藏流狂言「因幡堂」、金剛流能「鶴」)
- 平成27年5月16日:
 - ・御社上りの儀(金春流能「田村」)
 - ・南大門の儀(観世流能「羽衣」、大藏流狂言「因幡堂」、金剛流能「鶴」)

●采女祭

【主催】采女祭保存会

- 平成27年9月27日開催
 - ・花扇奉納行列
 - ・花扇奉納神事
 - ・采女語り
 - ・管絃船の儀



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
項目			
奈良大茶会珠光茶会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶に関するシンポジウム等も行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来場者数 第一回(平成25年度)約5,900人、第二回(平成26年度)約7,400人、第三回(平成27年度)9,400人
 観光閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいております。成功している事業であると考えています。
 これまでならまち地区では元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催してきたが、今年度はならまちなぎわい施設で初心者体験を開催したり、高林寺でのお茶席を開催することから、いっそうの集客が期待できる。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

茶会にお越しいただいた方にならまちを周遊していただけるよう検討してまいります。

状況を示す写真や資料等



第三回奈良大茶会 珠光茶会 平成28年2月8日～14日

参加社寺:春日大社、東大寺、元興寺、大安寺、西大寺、唐招提寺、薬師寺、法華寺

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
項目			
春日大社写生会及び清書会開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度は写生会に約250名、清書会に約300名の参加があった。 世界遺産である春日大社の境内において、子どもたちを対象に文化活動の場を提供できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市の補助金の交付により、引き続き事業の実施を支援する。		

状況を示す写真や資料等



平成27年7月23日(木)春日大社清書会の様子

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
項目			
なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	なら国際映画祭 平成24年度～、ならシネマテーク 平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。また、2年に一度の国際映画祭だけでなく、文化的かつ芸術的な作品を鑑賞する定期的な機会と映画を通じた交流機会として、ならシネマテークを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度は来年度開催されるなら国際映画祭のプレイベントとして「星空上映会」が奈良公園で開催され、約3,500人の動員があった。 また、月に1回開催されるならシネマテークも計画通り開催されており、平成27年度は延べ約3,840人の方々に映画に親しんでいただいた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



なら国際映画祭開会式



ならシネマテーク会場風景

評価軸③-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に両賞を募集し、第1回入江泰吉記念写真賞には154点、ならPHOTO CONTESTには803点の応募があり、平成27年度にはそれぞれの受賞作品の展覧会を入江泰吉記念奈良市写真美術館において開催した。作品募集・展覧会を通して、日本人の心のふるさとである奈良大和路を約半世紀にわたって撮り続けた入江氏の業績を顕彰し、本市の文化振興に寄与することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より質の高い写真賞を実施するため、また、事業の周知を図るため、第2回の事業では入江泰吉記念写真賞の受賞作品による写真集の製作を行う。
--	--

状況を示す写真や資料等



募集要項



受賞作品

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
項目			
入江泰吉旧居活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度は36件の事業を実施した。延べ2,018人の参加があった。 事業は写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催している。 これらの事業により、入江泰吉旧居を歴史的風致向上施設として有効に活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	暗室を活用した事業として、平成28年度は現像体験を実施する。		

状況を示す写真や資料等



講座「おん祭りと入江泰吉」平成27年12月13日(日)



暗室内設備

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
奈良町にぎわいの家活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。町家の空間を活かしたイベントや伝統行事等の実施により、奈良町文化の発信及び継承に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●平成27年度実施事業の例

- 二十四節気講座
- 奈良町「くらし」講座
- 町家講座
- かまど体験
- にぎわい体験茶会
- 夏休み子ども企画 灯籠作り
- など



かまど体験の様子



体験茶会



和のコンサート

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
観光案内板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成36年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)

計画に記載している内容 観光案内板の設置

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度にならまち観光の拠点となる箇所に9基設置し、平成27年度には新たに3基設置した。

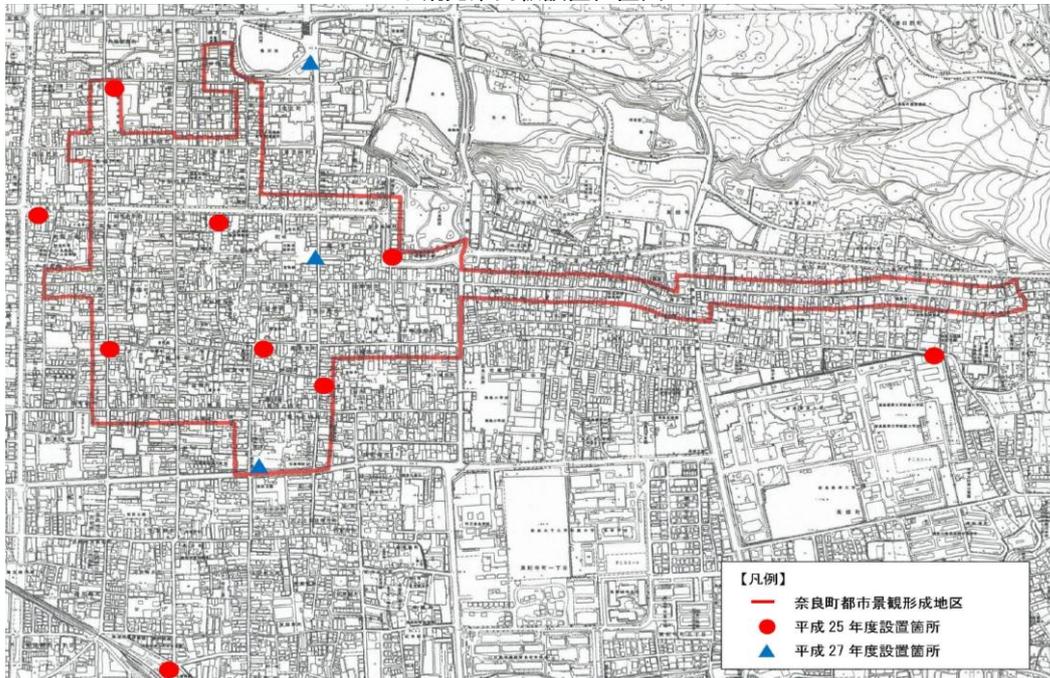
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●観光案内板設置位置図



●観光案内板設置事例(平成27年度)



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財解説板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の指定文化財の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語(英・中・韓)による名称表記を添えた解説板を設置している。平成27年度には2基(うち1基は重点区域外)を新設、2基(うち1基は重点区域外)を更新し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は50基となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●重要文化財『不空院木造不空羂索観音坐像』解説板



●登録有形文化財『田村青芳園茶舗店舗兼主屋』解説板



※下段は既設の町名解説板(民間設置)

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
奈良まちかど博物館事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奈良きたまち地区は平成15年度に10館が開館(平成26年度に2館が閉館)、ならまち地区は平成21年度に20館が開館している。

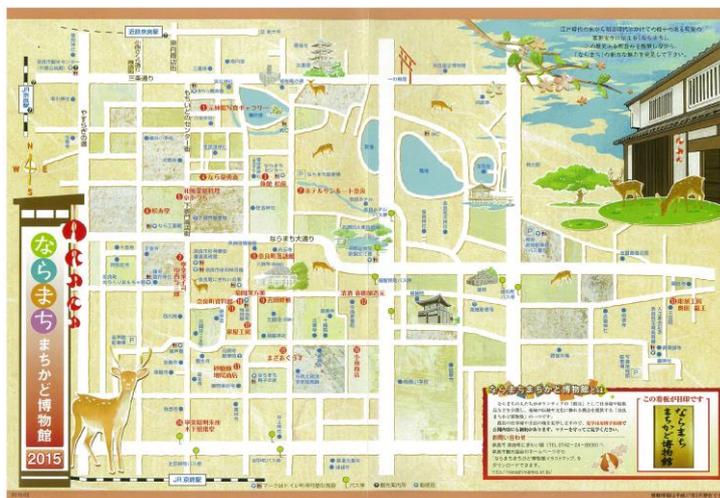
また、年に一度館長が一堂に集まる情報交換会を実施し、よりよい運営を目指している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



きたまちまちかど博物館MAP



ならまちまちかど博物館MAP

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 宿泊観光客を対象としたならまちナイトカルチャーや修学旅行生を対象とした出前カルチャー、奈良町を巡るウォーキングイベントなど、伝統芸能の鑑賞や工芸体験などができる様々なイベントを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統芸能の鑑賞や工芸体験等を行うならまちナイトカルチャーを年4回開催するとともに、平成26年度からはならまち界隈の案内と落語を組み合わせたまち歩きイベントを実施している。また、平成27年度から修学旅行生に対し、宿泊先に向向いてナイトカルチャーを行う出前カルチャーを実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●平成27年度ならまちナイトカルチャー実施状況

	開催日程	参加人数
春	平成27年5月19日～平成27年5月31日(12日間)	384人
夏	平成27年7月24日～平成27年8月2日(6日間)	537人
秋	平成27年10月24日～平成27年11月6日(12日間)	273人
冬	平成28年2月2日～平成28年2月7日(6日間)	139人

演目: 日本舞踊、落語、狂言、雅楽、能等



ナイトカルチャーチラシ

●平成27年度まち歩きイベント実施状況

開催日程: 平成27年8月6日～平成27年9月13日(18日間)
参加人数: 162人



まち歩きイベントの様子

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
史料保存館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。
(企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1~2回程度)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

館蔵の歴史資料を活用した企画展示、「ならまち歳時記」を12回開催し、奈良町を訪れる観光客や地域住民を含む市民等に、奈良の歴史と伝統文化、年中行事等を紹介した。また地元奈良町の古文書等をテキストにした古文書講座を2回開催して、自ら歴史を学習する機会とした。これらを通して奈良の歴史と文化を学ぶことで、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●「ならまち歳時記」		(入館者数)
4月～ 奈良の桜と川路聖謨	4月 7日(火) ～ 5月10日(日)	4,643人
5月～ 薪能	5月12日(火) ～ 6月 7日(日)	2,729人
6月～ 南都八景－佐保川の蜩－	6月 9日(火) ～ 7月 5日(日)	2,214人
7月～ 奈良の酒 南都諸白の歴史	7月 7日(火) ～ 8月 2日(日)	2,404人
8月～ 奈良奉行と春日大社万燈籠	8月 4日(火) ～ 9月 6日(日)	3,416人
9月～ 元林院町の歴史－絵屋町から花街へ－	9月 8日(火) ～10月 4日(日)	3,519人
10月～ 鹿の角きり	10月 6日(火) ～11月 1日(日)	3,438人
11月～ 東大寺と奈良町－正倉院展にちなんで－	11月 3日(火・祝)～11月29日(日)	3,204人
12月～ 春日若宮おん祭と奈良町	12月 1日(火) ～ 1月11日(月・祝)	3,042人
1月～ 奈良町の正月行事 春日講	1月13日(水) ～ 2月 7日(日)	2,115人
2月～ 月ヶ瀬梅溪展－梅の季節にちなんで－	2月 9日(火) ～ 3月13日(日)	3,002人
3月～ 平成27年度新収蔵史料展	3月15日(火) ～ 3月31日(木)	1,799人

●古文書講座
平成27年12月19日(土) 平成28年1月9日(土)開催 定員30名(申込み91名)



ならまち歳時記 展示解説



古文書講座 12月19日(土)、1月9日(土) 参加者30名

評価軸③-27 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業(一部共催)		
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2015」 (1) 7月19日「赤膚焼絵付け体験 ～やきものの歴史と赤膚焼～」 参加者(小学生・保護者) 15名 (2) 8月22日「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」 参加者(小学生・保護者) 18名 (3) 10月17日「古仏に親しむ ～名品との出逢い～ 奈良町南の阿弥陀・観音像 一聖光寺・井上神社・璉城寺～」 参加者(成人) 15名 (4) 11月 1日「古仏に親しむ ～名品との出逢い～ 佐保路の観音・明王像 一不退寺・海龍王寺～」 参加者(成人) 15名 (5) 12月 1日「赤膚焼登り窯解体修理速報見学会」 参加者 75名 ※(1)(2)(4)(5)は重点区域外での実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>●奈良市文化財講座(3) 10月17日(土) 参加者15名 「古仏に親しむ ～名品との出逢い～ 奈良町南の阿弥陀・観音像 一聖光寺・井上神社・璉城寺～」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
項目			
文化財調査、指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・(1)近世近代建造物調査、(2)庭園調査、(3)月ヶ瀬・都祁地域指定文化財関連調査を計画に従い実施中。(1)は奈良県建築士会と協働で、(2)は奈良文化財研究所との連携研究として実施している。 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、2件を市指定文化財に指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、6件(3か所)について新たに意見具申し、当市からの意見具申に基づき7件(3か所)が登録された他、引き続き候補物件の調査等を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>●近世近代建造物調査</p> 			
<p>●庭園調査</p> 			

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業、史跡の管理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-1、2参照(P3、P4)
 名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業に補助金交付
 春日山原始林保全計画検討委員会に出席
 国、県、市指定の記念物、建造物等の文化財(16件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

● 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業
評価軸③-1参照



● 史跡興福寺旧境内記念物保存修理
評価軸③-2参照



● 名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業



● 春日山原始林保全計画検討委員会に出席

春日山原始林保全計画検討委員会
 第7回 平成27年7月24日
 第8回 平成28年1月18日
 第9回 平成28年3月10日

1. 春日山原始林におけるナラ枯れ対策

平成22年(2010)8月、奈良奥山ドライブウェイ周辺の森林においてナラ枯れ被害木が確認されて以降、隣接する春日山原始林においてもナラ枯れ被害の拡大が確認されている。この状況を踏まえ、奈良県では、国有林等、周辺の森林の管理者や関係部局と連携し、春日山原始林におけるナラ枯れ対策に取り組んできた。

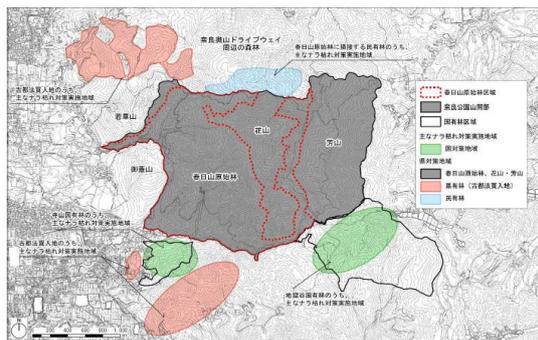


図1 原始林と周辺森林の立地関係

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 平成27年度 現在の状況
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 東大寺・興福寺・春日大社の防災設備事業 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
興福寺五重塔ほか防災施設事業に補助金を交付 東大寺木造五劫思惟弥陀坐像防災施設事業に補助金を交付 平成28年1月26日、「文化財防火ゼミナール」開催 平成28年1月23日・28日・29日、3か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財防火訓練を実施	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
<ul style="list-style-type: none"> ●興福寺五重塔ほか防災施設事業 消火設備改修ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ●東大寺木造五劫思惟弥陀坐像防災施設事業 美術工芸品保存施設の修理工事ほか
	
<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練 1月23日(土) 会場: 霊山寺 参加者 上院14名、消防職団員39名、8車両 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財防火ゼミナール 1月26日(火) 会場: 奈良国立博物館 参加者 150名
	

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業
指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付
団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-23、26、27参照(奈良市文化財講座 (1)(5)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催、(2)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催)。
平成27年度、文化財関係10団体に計7,130千円の文化財補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

評価軸③-23、26、27参照

●奈良市文化財講座 (2) 8月22日(日) 参加者18名
「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」



●奈良市文化財講座 (5) 12月13日(日) 参加者約75名
「赤膚焼登り窯解体修理速報見学会」



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		平成27年度 掲載紙等
奈良市の歴史的まちづくり認定	平成27年4月1日	奈良新聞
にぎわいの家	平成27年4月21日	毎日新聞
旧鍋屋交番きたまち案内所	平成27年5月6日	産経新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年2月23日に「歴史的風致維持向上計画」が認定され奈良町・奈良公園を重点区域とした計画に位置付けられた事業について、多くの報道がされ、市民への周知につながっていると考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成27年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
春のナイトカルチャー	平成27年5月21日	産経新聞	
夏のナイトカルチャー	平成27年7月3日	朝日新聞(WEB版)	
元林院の舞妓とそぞろ歩く花街の夕べ	平成27年9月28日	奈良新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年2月23日に「歴史的風致維持向上計画」が認定され奈良町・奈良公園を重点区域とした計画に位置付けられた事業について、多くの報道がされ、市民への周知につながっていると考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	平成27年度
--	--------	--------

項目
「観光の振興」に向けた官民協働の取組

計画に記載している内容	平成4年に策定した「ならまち賑わい構想」を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

ならまち界限を中心に行われている「ならまちわらべうたフェスタ」は、ならまちセンターをメイン会場として、各会場で模擬店や物産展などが開かれており、平成27年で23年目を迎える。また、奈良市で初めて、地元の皆様との協働により運営される観光案内施設「旧鍋屋交番 きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)」が平成24年7月1日に半田横町にオープンし4年目を迎える。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

わらべうたは子どもたちによって遊びの中で伝えられ、それぞれの時代の子どもの様子や人々の文化が表現されている貴重な無形文化遺産と位置づけ、「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学だけでなく民までを含んだ産官学民連携による実行委員会形式で開催している。これら20~30の団体が参加し一体となり、近鉄奈良駅から音声館までの道のりを「わらべうたロード」と題しわらべうたに歌われている情景や遊びのイベントブースをならまちの中に点在する様々な施設を活用し界隈を回遊しながら楽しめるお祭りとして、10月第3日曜日に実施。



わらべうたフェスタの様子(平成27年10月18日)

この建物は、長らく「鍋屋の交番」として親しまれてきた旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を改築したものです。地域住民の安心のよりどころとして、その役目を終えて数年、一時傷みも目立つようになっていますが、地域の声により保存、改修を経て新たに生まれ変わりました。独特な洋風の外観はそのまま生かし、きたまちの玄関口で、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点など、さまざまな活動を実践していくことを目指しています。



旧鍋屋交番 きたまち案内所
(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)

評価対象年度	平成27年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第5回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時： 平成28年2月24日(水) 15時30分	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○ 進捗評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料の下に提示する表は、より具体的なものとして件数等の一覧表を記載すれば、実績が伝わるようになる。 ・各シートのフォーマットをできる限り統一感をもたせた方がわかり易い。 <p>○ 計画の内容等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③-9猿沢線街路整備事業を除いて、他の事業は計画通り進んでいるという肯定的な評価をした上で、各事業について個別の評価をおこなえばよい。 ・住民の方々が「奈良市歴史的風致維持向上計画」に対してどのような意識であるかということ进行调查するのはよいのかと思う。 ・事業について、全体として計画通りに進んでいるか否か、まだここが十分でないとか、個別にここはこう進めるべきであるとかを検討していくべきではないか。 ・市民の歴まちに対する賛成度が重要で、賛成度が上がれば、事業についても参画してくれるようになる。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>市民の方々に、「奈良市歴史的風致維持向上計画」について認識していただくための取組(イベント等)を進めなければならぬ。そうすれば、市民の方々の理解が得られ、事業も進捗をみせ、また新しい事業展開をみせる可能性も高まる。</p>	